



Red Hat Virtualization 4.2

VM ユーザーポータル概要

VM ユーザーポータルへのアクセスおよび使用

Red Hat Virtualization 4.2 VM ユーザーポータル概要

VM ユーザーポータルへのアクセスおよび使用

Red Hat Virtualization Documentation Team
Red Hat Customer Content Services
rhev-docs@redhat.com

法律上の通知

Copyright © 2018 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux ® is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java ® is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS ® is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL ® is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js ® is an official trademark of Joyent. Red Hat Software Collections is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack ® Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

本ガイドは、Red Hat Virtualization VM ユーザーポータルの使用方法について説明します。

目次

第1章 VM ユーザーポータルへのアクセス	3
1.1. VM ユーザーポータルとは	3
1.2. 要件	3
1.3. CA 証明書のインストール	3
1.4. VM ユーザーポータルへのログイン	4
1.5. グラフィカルユーザーインターフェースの構成要素	5
第2章 仮想マシンの管理	7
2.1. 仮想マシンの詳細情報の表示	7
2.2. 仮想マシンの編集	8
2.3. 仮想マシンの作成	9
2.4. 仮想マシンへの接続	9
2.5. コンソール設定の変更	10

第1章 VM ユーザーポータルへのアクセス

1.1. VM ユーザーポータルとは

デスクトップ仮想化により、パーソナルコンピュータのデスクトップ環境と同様のデスクトップ環境がユーザーに提供されます。VM ユーザーポータルは、ユーザーに仮想デスクトップインフラストラクチャを提供するためのインターフェースです。ユーザーは Web ブラウザーを使用して VM ユーザーポータルにアクセスし、自分に割り当てられた仮想デスクトップを表示してアクセスします。VM ユーザーポータルでユーザーが使用できるアクションは、システム管理者によって設定されます。標準ユーザーは、システム管理者により割り当てられたデスクトップを起動、停止、使用することができます。パワーユーザーは、一部の管理操作を行うことができます。いずれのタイプのユーザーも、同じ URL から VM ユーザーポータルにアクセスします。ログイン時のパーミッションレベルに応じて、適切な VM ユーザーポータルのオプションが表示されます。

標準ユーザーによるアクセス

標準ユーザーは、VM ユーザーポータルを介して仮想デスクトップの電源を投入/切断したり、接続したりすることができます。SPICE または VNC クライアントを使用して、仮想マシンへ容易に直接接続することができます。いずれのプロトコルも、ローカルにインストールしたデスクトップと同様の環境をユーザーに提供します。仮想マシンへの接続に使用するプロトコルは、仮想マシンの作成時に管理者が指定します。

パワーユーザーによるアクセス

システム管理者は、ユーザーにパワーユーザーのアクセスを付与することによって、一部の管理タスクを委任することができます。また、パワーユーザーは、標準ユーザーが実行できるタスクに加えて、以下のような操作を行うことができます。

- 仮想マシンの作成/編集/削除
- 仮想ディスクおよびネットワークインターフェースの管理
- 仮想マシンに対するユーザーパーミッションの割り当て
- 仮想マシンを迅速にデプロイするためのテンプレートの作成/使用
- リソースの使用状況および重大度が高いイベントのモニタリング
- 仮想マシンを以前の状態に復元するためのスナップショットの作成/使用

1.2. 要件

『プランニングおよび前提条件ガイド』の「[ブラウザーの要件](#)」および「[クライアント要件](#)」を参照してください。

1.3. CA 証明書のインストール

VM ユーザーポータルへの初回アクセス時には、Red Hat Virtualization Manager が使用する証明書をインストールして、セキュリティ警告が表示されないようにする必要があります。

Firefox での CA 証明書のインストール

1. VM ユーザーポータルの URL にナビゲートします。
2. **例外を追加** をクリックして **セキュリティ例外の追加** ウィンドウを開きます。

3. 次回以降にもこの例外を有効にする を選択します。
4. セキュリティ例外を承認 をクリックします。

Internet Explorer での CA 証明書のインストール

1. VM ユーザーポータル証明書の URL ([https://\[VM ユーザーポータルの URL\]/ca.crt](https://[VM ユーザーポータルの URL]/ca.crt)) にナビゲートします。
2. ファイルのダウンロード - セキュリティの警告 ウィンドウの 開く をクリックすると 証明書 ウィンドウが開きます。
3. 証明書のインストール ボタンをクリックして 証明書のインポート ウィザード ウィンドウを開きます。
4. 証明書をすべて次のストアに配置する のラジオボタンを選択して 参照 をクリックし、証明書ストアの選択 ウィンドウを開きます。
5. 証明書ストアの一覧から 信頼されたルート証明機関 を選択し、OK をクリックします。
6. 次へ をクリックして 証明書ストア の画面に進みます。
7. 次へ をクリックして 証明書のインポート ウィザードの完了 画面に進みます。
8. 完了 をクリックして証明書をインストールします。



重要

Internet Explorer を使用して VM ユーザーポータルにアクセスする場合には、Red Hat Virtualization のウェルカムページの URL を信頼済みサイトの一覧に追加して、信頼済みサイトの全セキュリティールールが **console.vv** mime ファイルや Remote Desktop 接続用ファイルなどのコンソールリソースに適用されるようにする必要があります。

CA 証明書のダウンロード

CA 証明書を手動でダウンロードするには、Manager のウェルカム画面にある **CA 証明書** のリンクをクリックし、**ca.crt** ファイルを保存します。

1.4. VM ユーザーポータルへのログイン

VM ユーザーポータルへのログイン

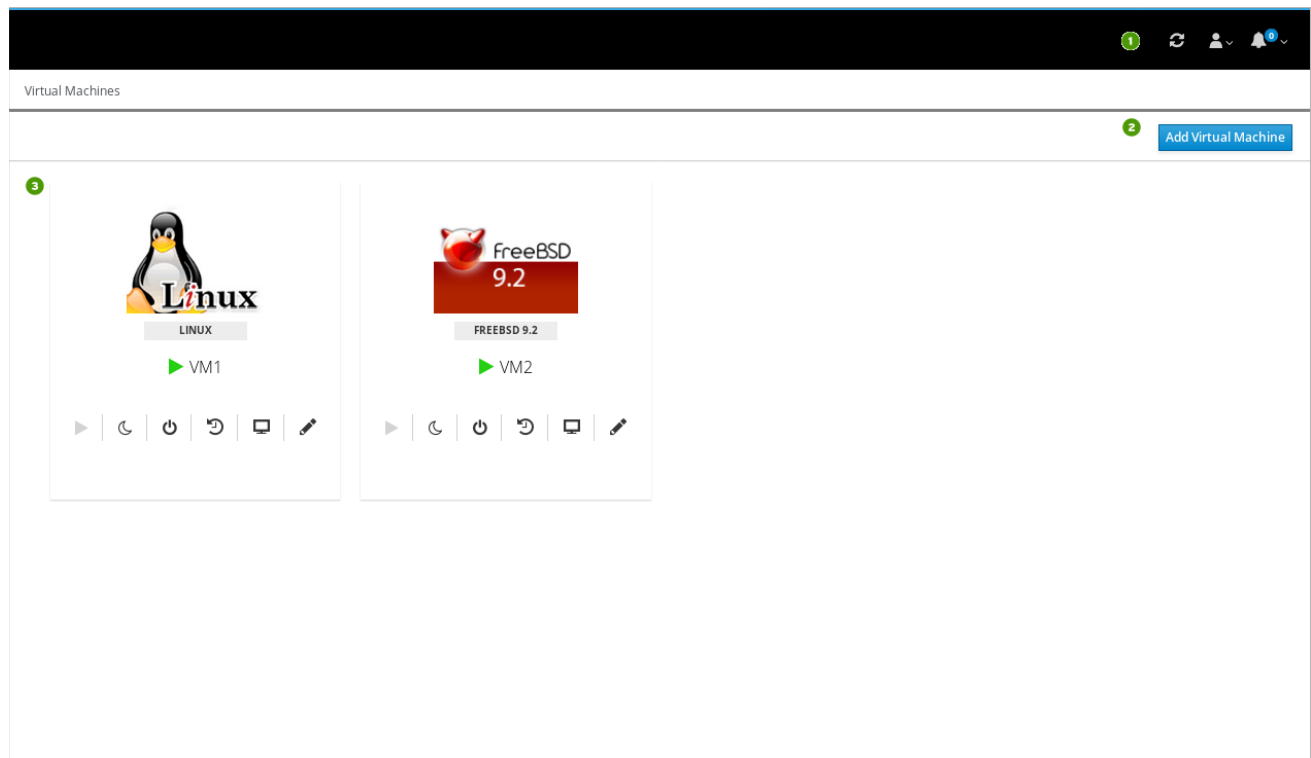
1. 所定のサーバーアドレスを Web ブラウザーに入力して、Manager のウェルカム画面にアクセスします。
2. ドロップダウンリストから必要な言語を選択します。
3. **VM ユーザーポータル** をクリックすると、SSO ログインページが表示されます。SSO ログインにより、VM ユーザーポータルと管理ポータル (パーミッションが付与されている場合) に同時にログインすることができます。
4. **ユーザー名** および **パスワード** を入力します。**プロファイル** のドロップダウンリストを使用して、正しいドメインを選択します。

5. **ログイン** をクリックすると、ログインユーザーに割り当てられた仮想マシンおよびプールの一覧が表示されます。

ポータルからログアウトするには、ヘッダーバーでユーザー名をクリックして、**ログアウト** を選択します。すべてのポータルからログアウトされ、Manager のウェルカム画面が表示されます。

1.5. グラフィカルユーザーインターフェースの構成要素

VM ユーザーポータル画面では、仮想マシンに関する標準的なタスクを実施したり、ログインオプションを変更したり、メッセージを表示したりすることができます。



グラフィカルユーザーインターフェースの主要構成要素

- **1 ヘッダーバー**
ヘッダーバーには、**リフレッシュ** ボタン、**ユーザー** ドロップダウンボタン、および **メッセージ** ドロップダウンボタンがあります。
 - **リフレッシュ** ボタンをクリックすると、ポータルの表示が最新の情報に更新されます。
 - **ユーザー** ドロップダウンボタンをクリックすると、以下の項目が表示されます。
 - **オプション**: シリアルコンソール経由で VM ユーザーポータルに接続するための SSH キー
 - **バージョン情報**: VM ユーザーポータルのリリース情報
 - **ログアウト**: VM ユーザーポータルからのログアウト
 - **メッセージ** ドロップダウンボタンをクリックすると、システムからのメッセージが表示されます。
- **2 ツールバー**







ツールバーには、その他の操作を実施するためのボタンが表示されます。

- **3 仮想マシンペイン**

仮想マシンペインには、各仮想マシンおよびプールを構成する仮想マシンのアイコン、オペレーティングシステム、名前、状態、および管理アイコンが表示されます。

第2章 仮想マシンの管理

仮想マシンペインでは、仮想マシンに関する標準的な管理タスクを実施することができます。

- 仮想マシンを起動するには、**起動** アイコン () をクリックします。仮想マシンが一時停止中、停止中、または電源オフの時に使用できます。
- 仮想マシンを一時停止するには、**サスペンド** アイコン () をクリックします。仮想マシンが稼働している時に使用できます。
- 仮想マシンを停止するには、**シャットダウン** アイコン () をクリックします。仮想マシンが稼働している時に使用できます。
- 仮想マシンを再起動するには、**再起動** アイコン () をクリックします。仮想マシンが稼働している時に使用できます。
- 仮想マシンのコンソールにアクセスするには、**コンソール** アイコン () をクリックします。仮想マシンが稼働している時に使用できます。
- 仮想マシンを編集するには、**編集** アイコン () をクリックします。

2.1. 仮想マシンの詳細情報の表示

仮想マシンの詳細情報の表示

仮想マシンペインで仮想マシンの名前をクリックすると、詳細ビューが表示されます。以下の詳細情報が表示されます。

- **状態:** Up、Down、Paused、Suspended 等
- **説明** (オプション)
- **クラスター**
- **テンプレート**
- **オペレーティングシステム**
- **最適化オプション:** デスクトップ/サーバー/ハイパフォーマンス
- **定義済みメモリー**
- **CPU**
- **アドレス:** 仮想マシンの FQDN。この値を取得するには、仮想マシンにゲストエージェントがインストールされている必要があります。
- **CD**
- **コンソール:** コンソールオプションの詳細については、[「コンソール設定の変更」](#)を参照してください。

- **ディスク: 編集** アイコンをクリックすると **Delete** および **New** ボタンが表示され、現在のディスクを削除したり新規ディスクを作成したりすることができます。詳細については、『[仮想マシン管理ガイド](#)』の「[仮想マシンの全般の設定](#)」を参照してください。
- **Network interfaces: 編集** アイコンをクリックすると **Delete** および **New** ボタンが表示され、現在のネットワークインターフェースを削除したり新規ネットワークインターフェースを作成したりすることができます。詳細については、『[仮想マシン管理ガイド](#)』の「[新規ネットワークインターフェースおよびネットワークインターフェースの編集ウィンドウの設定](#)」を参照してください。
- **Boot Menu** のステータス: **On/Off**
- **Cloud-Init** のステータス: **On/Off**。 **Boot Menu** または **Cloud-Init** のステータスを変更するには、「[仮想マシンの編集](#)」を参照してください。

別の仮想マシンの詳細ビューを直接表示するには、詳細ペイン左側の折りたたみ/展開矢印をクリックして、利用可能な仮想マシンの一覧を表示します。各マシンの名前をクリックして、その詳細情報を表示することができます。

2.2. 仮想マシンの編集




注記

ユーザーロールに仮想マシンを編集するパーミッションが設定されている必要があります。

仮想マシンの詳細ビューで、仮想マシンのディスク、ネットワークインターフェース、およびコンソール設定を編集することができます。「[仮想マシンの詳細情報の表示](#)」を参照してください。

仮想マシンの編集

1. 仮想マシンペインで、編集する仮想マシンの **編集** アイコン () をクリックします。以下のフィールドが表示されます。
 - **名前:** 仮想マシンの名前。仮想マシンの名前には、アルファベットの大文字/小文字、数字、アンダースコア、ハイフン、およびピリオドのみを使用することができます。特殊文字およびスペースを含めることはできません。
 - **説明 (オプション)**
 - **クラスター**
 - **テンプレート**
 - **オペレーティングシステム**
 - **定義済みメモリー**
 - **CPU**
 - **CD**
 - **Boot Menu:** このフィールドが **ON** に設定されている場合は、コンソールに **Boot** メニューが表示されブートデバイスを選択することができます。

- **Cloud-Init:** `cloud-init` ツールにより、仮想マシンのデプロイメントを自動化することができます。このフィールドが **ON** に設定されている場合は、**Hostname** および **SSH Authorized Keys** フィールドが表示されます。詳細については、『[仮想マシン管理ガイド](#)』の「[仮想マシンの初期起動の設定](#)」を参照してください。

2. **仮想マシンの更新** をクリックします。

仮想マシンのアイコンの変更

1. 仮想マシンのアイコンの下にある **編集** アイコンをクリックします。
2. 希望の画像を選択し、**Open** をクリックします。許容される最大のサイズは 150 x 120 ピクセルです。

デフォルトのアイコンに戻すには、円形の矢印をクリックします。

2.3. 仮想マシンの作成

仮想マシンの作成

1. ツールバーの **新規仮想マシンの追加** ボタンをクリックします。
2. 以下のフィールドを設定します。
 - **名前:** 仮想マシンの名前。仮想マシンの名前には、アルファベットの大文字/小文字、数字、アンダースコア (`_`)、ハイフン (`-`)、およびピリオド (`.`) のみを使用することができます。特殊文字およびスペースを含めることはできません。
 - **説明** (オプション)
 - **クラスター**
 - **テンプレート**
 - **オペレーティングシステム**
 - **定義済みメモリー**
 - **CPU**
 - **CD**
詳細については、『[仮想マシン管理ガイド](#)』の「[新規仮想マシンおよび仮想マシンの編集ウィンドウの設定](#)」を参照してください。
3. **仮想マシンの作成** をクリックします。

2.4. 仮想マシンへの接続

仮想マシンへの接続

1. 仮想マシンペインにおいて、**起動** アイコンをクリックして仮想マシンを起動します。
2. **コンソール** アイコンをクリックして仮想マシンに接続します。
3. **.vv** ファイルのダウンロードを求められる場合があります。

4. **remote-viewer** を使用してファイルを開きます。コンソールウィンドウが表示されます。
これで、物理デスクトップを使用するのと同じように仮想マシンを使用することができます。


2.5. コンソール設定の変更



注記

仮想マシンを表示するパーミッションが設定されたユーザーは、誰でも **コンソール** 設定を変更することができます。変更は、サーバーではなくブラウザー内にローカルに保存されます。

コンソール設定の変更

1. 仮想マシンペインで仮想マシンの名前をクリックし、詳細ビューを表示します。
2. **コンソール** 設定アイコン () をクリックし、以下のオプションを表示します。
 - **自動的に接続**: 実行中の仮想マシンが 1 台だけの場合には、自動接続が可能になります。
 - **全画面表示**: 仮想マシンへの接続時に、仮想マシンのコンソールを自動的に全画面表示で開きます。**SHIFT + F11** を押して、全画面表示のオン、オフを切り替えます。
 - **Use Ctrl+Alt+End**: **Ctrl + Alt + Del** のキーの組み合わせを、仮想マシン内の **Ctrl + Alt + End** にマッピングします。
 - **スマートカードを有効にする**: スマートカード認証をクライアントマシンから仮想マシンに渡すことができます。